

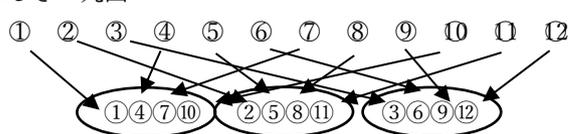
3年1組 算数科学習指導案

授業日：令和6年6月6日（木）4校時
 場所：3年1組教室
 授業者：

1 単元名「わり算」

2 本時について

- (1) 本時のねらい：等分したときの1つ分の大きさを求める活動を通して、操作の仕方に着目し等分除の意味を理解し、分け方を説明することができる。
- (2) 本時の展開（1／7）

段階	学 習 活 動	研究の具体的方途
つかむ	<p>1 問題をつかむ</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">いちごが12こあります。3人で同じ数ずつ分けると、1人分は何こになりますか。</div>	<p>・「同じ数ずつ分けること」の意味を確認する。（課題の意味の把握）</p> <p>・児童たちが課題を自分たちの言葉で作れるように発問する。</p>
考えをもつ	<p>2 課題づくりをする</p> <div style="border: 3px double black; padding: 5px; margin: 5px 0;">同じ数ずつ分ける方法を考えよう。</div> <p>3 自分の考えをもつ</p> <p><おはじき 丸図></p>  <p>・矢印に番号を書き入れる。</p> <p><言葉></p> <ul style="list-style-type: none"> ・1回目分けると9個残る 2回目で6個残る 3回目で3個残る 4回目で0になるので、1人分は4個 ・3つのお皿に1つずつ順番に、いちごがなくなるまで配る。（トランプと同じように配る。※トランプ分け） <p><かけ算></p> <p>・□×3=12 □には、4が入る。</p>	
考えを深める	<p>4 考えを交流する</p> <p><ペア交流>・同じ考え方のペアで交流をする。</p> <p><全体交流></p> <ul style="list-style-type: none"> ・考え方をみて気付いたこと（似ていること、違うこと）を発表する。 ※動画で一斉に確認する。 <p>5 たしかめ問題に取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・15個のビー玉を3人で同じ数ずつ分けます。1人分は何個になりますか。図にかいて確かめる。 <p>6 まとめをする</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 同じ数ずつ分ける時の分け方は、 1個ずつ 順番に分ければよい。 </div> <div style="border: 1px solid blue; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 12このいちごを、3人で同じ数ずつ分けると、1人分は4こになります。 このことを式で、 $12 \div 3 = 4$ と書いて、 「12 わる 3 は 4」と読みます。 $12 \div 3 = 4$ 全部の数 何人分 1人分の数 </div> <p>7 評価問題を解く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・18枚の色紙を6人で同じ数ずつ分ける。1人分は？式でも考える。 	<p>【研究内容1】</p> <p>②問題解決のための手立ての工夫</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな方法で考えたらよいか見通しがもてるように発問をする。 ・おはじき操作をするための枠が書かれたヒントプリントを準備する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center; margin: 5px 0;">おはじき・丸図</div>  <ul style="list-style-type: none"> ・おはじきを操作している児童には、動かす時に順番を言いながら操作することを助言する。 ・丸図に書いて操作している児童には、番号を書いて操作することを助言する。 <p>【研究内容2】</p> <p>②考えを伝え合う活動の位置付け></p> <ul style="list-style-type: none"> ・同じ考え方のペア交流 考えを確認し、自信をもち発表へつなぐ。
考えをたしかにする		<p><評価規準></p> <ul style="list-style-type: none"> ・等分除の意味が分かり、操作を通して等分する方法を説明できる。 <p>【思考・判断・表現】(ノート・発言)</p> <p>具体物を操作しながら説明することができる。</p>